

県中農林ニュース

ふくしまから はじめよう。『食』と『ふるさと』 新生運動ニュース



【郡山市花木団地の東海桜です！】

第 22 号（令和 3 年 2 月 26 日発行）

～目次～

- 特集 P. 1
- 農林業関係の動き P. 2-6
- 頑張る農林業者 P. 7
- おいしい 6 次化商品 P. 7
- 各部・各普及所の紹介 P. 8
- お知らせ P. 8

編集・発行 福島県県中農林事務所

はじめに、2月13日に発生した地震により、亡くなられた方に対し、深く哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。

県といたしましては、被災された方々が一日も早く元の生活を取り戻されるよう、被災箇所の復旧と被災者の生活再建に全力で取り組んでまいります。

豊かなむらづくり顕彰事業受賞者を御紹介します！

県では、「豊かなむらづくり顕彰事業」として、集落等におけるむらづくり活動や農業生産活動に顕著な業績を収めている団体等を表彰しています。

39回目となる今回は、1月18日、杉妻会館（福島市）において表彰式が行われ、管内からは農業生産部門で郡山市の「福島さくら農業協同組合郡山地区湖南夏秋とまと生産部会」と小野町の「生産組合ペルサルデー」が受賞しました。

【福島さくら農業協同組合郡山地区湖南夏秋とまと生産部会（郡山市）】

湖南夏秋とまと生産部会は、昭和52年に設立され、現在21名の生産者により、高冷地の気候を活かして夏秋期にトマトを生産しています。基本的技術の励行と丁寧な栽培管理、タイマー式自動かん水装置等の省力技術の積極的な導入によるこまめな肥培管理を行い、近年の異常気象の中でも高品質のトマトを安定的に生産し、郡山地域の園芸を牽引する部会となっています。

また、湖南地域外から参入し新たに栽培を始め、部会員のフォローも手厚いことから、新規栽培者の定着につながっています。今回の受賞が弾みとなり、湖南地域のトマト産地が今後受け継がれていくことを期待いたします。



〔部会代表者（両端）と知事、福島民友新聞社長〕
※福島民友新聞社撮影

【生産組合ペルサルデー（小野町）】

「生産組合ペルサルデー」は平成26年に設立され、にんにくの生産から黒にんにくへの加工を行っています。ペルサルデーという名前にはイタリア語の「per salute=健康のために」という願いが込められています。

ペルサルデーでは、外部講師や農業普及所、JA、町による現地指導会や研修会の開催を通じた黒にんにくの生産技術の向上もさることながら、加工技術、商品の品質向上を図り、おいしい黒にんにく生産のために努力を重ねています。

ペルサルデーの黒にんにくは、県内のスーパーや直売所、日本橋ふくしま館 MIDETTE（東京都）などで販売されていますので見かけた際は、ぜひ手に取ってご賞味ください！



〔生産組合代表者（両端）と知事、福島民友新聞社長〕
※福島民友新聞社撮影

～農林業関係の動き（トピックス）～

FGAP（ふくしま県GAP）認証書交付式を行いました！

【森林林業部】

昨年12月23日、県中管内のきこのでは初めてとなるFGAP（ふくしま県GAP）が、2件同時に認証されました。認証されたのは、田村市の移ヶ茸^{やすださとり} 安田 悟 さんの「しいたけ」と「きくらげ」、鏡石町の佐久間産業株式会社さんの「きくらげ」です。

認証書の交付式は、1月6日に当事務所で行われ、家久来^{かくりい} 県中農林事務所長より安田さんと佐久間産業(株)のアグリ課長の佐久間一男^{さくまかずお}さんに認証書が手渡されました。

お二人とも異業種からの新規参入で、この認証取得を機により安全でおいしいきこのを消費者に届けたいと意気込んでいます。

現在、当管内の農産物直売所を中心に、安田さんの生しいたけと乾燥きくらげ、佐久間産業(株)の生きくらげ、乾燥きくらげ、きくらげパウダーを販売していますので、ぜひご賞味ください。



〔左から家久来所長、佐久間さん、安田さん、加藤森林林業部長〕

「ふくなかすい一つ消費拡大キャンペーン」第2期抽選会を開催しました！

【企画部】

「ふくなかすい一つ」の知名度向上と消費拡大を目的としたプレゼント企画「ふくなかすい一つ消費拡大キャンペーン」の第2期抽選会を1月14日に県郡山合同庁舎（郡山市）で開催しました。

抽選会では、ふくなかすい一つのPRのために新たに制作した法被を着用し、応募者121名（366口）の中から、家久来^{かくりい} 県中農林事務所長による抽選を行い、20名の当選者を決定しました。当選者にはふくなかすい一つを中心としたお菓子の詰め合わせをお送りしました。

本キャンペーン当選者からは、「これまで知らなかった地元農産物やそれらを使ったお菓子を新たに知ることができて良かった」とのお言葉をいただきました。

当事務所では、今後もふくなかすい一つをはじめとした県産農林水産物の消費拡大に努めてまいります。



【当選者が決まりました！】



【ふくなかすい一つの法被ができました！】

ナシ樹体ジョイント仕立て研修会を行いました！【須賀川農業普及所】

1月21日に郡山市熱海町の谷代栄一さんやしろえいちのナシほ場において、須賀川地域のジョイント研究会の生産者を対象に研修会を開催しました。

「樹体ジョイント仕立て」は、早期成園化と作業の効率化を図ることができる技術として須賀川地域でも徐々に導入が進められています。

須賀川地域では導入年数が浅いことから、先駆的に導入している郡山市で栽培管理について研修を行いました。研修会では、谷代さんから樹体ジョイント仕立ての栽培の要点や工夫点などの説明をいただき、参加者は熱心に学んでいる様子でした。

また、生産者同士の活発な情報交換が行われ、今後の栽培方法を検討する様子が見られました。

今後も研究会を通じた研修会の開催や技術支援を行うとともに、新規導入者の確保・育成に努めてまいります。



（樹体ジョイント仕立ての説明をする
谷代さん（中央））

ため池改修工事の現地研修会を行いました！【農村整備部】

1月27日に復興基盤総合整備事業（中山間地域総合整備事業）永谷地区（田村市船引町）において、農業土木職員の技術力向上を図ることを目的とした現地研修会を開催しました。

永谷地区の農地の用水源である農業用ため池「小屋池」の改修工事では、管内で初めて底樋管にプレキャスト製品を使用することとなり、現地で製品の据付や接合方法等を研修しました。

ため池は農業用水利用のため10月頃までは使用していることから、施工できる期間は11月～翌年2月頃までの限られた期間となります。

通常、底樋の施工には1か月以上の期間を要しますが、プレキャスト底樋管の使用により1週間程度で施工が完了できるため、大幅な工期短縮が図られることから、今後のため池改修工事での活用が期待されています。

なお、本地区は来春の農業用水利用期までに改修工事を完了する予定です。



【据付方法を確認する参加者】

農業士認定証交付式及び退任者知事感謝状贈呈式が行われました！
【農業振興普及部・田村農業普及所・須賀川農業普及所】

1月28日、福島テルサ（福島市）で「県農業士認定証交付及び県指導農業士退任者知事感謝状贈呈式」が行われました。当事務所からは新たに7名が農業士に認定され、5名の退任者に感謝状が贈呈されました。

今回農業士に認定された方と退任された方をご紹介します。

□新任者

（1）指導農業士

いいたふみあき
飯田史顕さん（指導農業士、郡山市）

安積町で大規模稲作を経営し、地域の担い手として苗作りや稲刈りなどの作業を請負っています。15年間の青年農業士活動をもとに、今後は、自らも先進経営を学びながら、後進へ指導できる農業士になりたいとの抱負を語っていただきました。

さとうふみこ
佐藤富美子さん（指導農業士、田村市）

田村地域の主要な品目であるピーマンの生産に取り組み、当地域では数少ないハウス栽培による早期出荷を実施しています。また、直売所ではさつまいもの干芋や甘酒等の販売も行っており、今後の活躍が期待されます。

めぐろいちろう
目黒一朗さん（指導農業士、天栄村）

水稻を16ha作付しており、過去には青年農業士として地域農業の発展に貢献してきました。また、「天栄米栽培研究会」に所属し、高品質な良食味米の生産に努めています。今後は、指導農業士として、農業経営の向上のために自己研鑽に励むとともに、地域の後継者の育成・指導に努め、地域農業の発展に貢献していきたいとの話をしてくださいました。

こばりひろみ
小針浩美さん（指導農業士、浅川町）

水稻では特別栽培米に、施設野菜ではトマトやきゅうりの養液土耕栽培に取り組んでいます。また、「花火の里あさかわ漢方資材栽培米生産部会」等、各部会の役員を務めるなど、地域のリーダーとして活躍されています。

（2）青年農業士

はしものりゆき
橋本紀之さん（青年農業士、郡山市）

西田町の鉢物生産法人「有限会社郡山園芸ナーセリー」の若き代表取締役で、ミニクラメン・ゼラニューム・花壇苗をホームセンターと契約栽培しています。地域の仲間と切磋琢磨しながら農業を盛り上げたいとの話をしてくださいました。

おぬきひさよし
小抜仙栄さん（青年農業士、須賀川市）

水稻、露地野菜の複合経営を確立し、安定的な農業所得確保のため独自の販路開拓に努めています。法人を設立し、高低差が大きく条件が悪い農地でも率先して引き受けるなど、地域の中心的な経営体として活躍されています。

こばやしかずあき
小林一聡さん（青年農業士、石川町）

ブロッコリーを130aと大規模に作付けするなど、野菜を中心に経営するなか、水稻種子の生産も行うなど地域農業の担い手として活躍されています。今後は水稻でGAP認証を取得し、経営改善に取り組みたいとの話をしてくださいました。

□退任者

(1) 指導農業士

さくま しゅんいち
佐久間俊一さん (指導農業士、郡山市)

喜久田町で水稻とイチゴを栽培されています。指導農業士を平成16年から16年間、さらに、郡山市指導農業士会会長を2年間歴任され、退任にあたり知事感謝状が贈呈されました。JA郡山地区稲作部会長を務めながら、若い稲作農家の良き手本として活躍されました。

おおのかずひろ
大野一宏さん (指導農業士、天栄村)

指導農業士として、10年以上地域農業の発展に貢献されました。全国の菌床しいたけ新規栽培者への熱心な指導や「天栄米栽培研究会」の役員を務めるなど、実直な農業に対する取り組みにより「第56回福島県農業賞」など、数多くの賞を受賞されました。

(2) 青年農業士

いとうとしひろ
伊東敏浩さん (青年農業士、郡山市)

片平町で水稻・大豆・野菜(イチゴ・きゅうり)を栽培する「有限会社うねめ農場」の代表取締役です。青年農業士として平成19年から13年間活躍され、県内屈指の大規模法人として若手農業者のリーダー的役割を果たしていただきました。

おおつきのぼる
大槻昇さん (青年農業士、須賀川市)

きゅうりのハウス(促成、抑制)栽培を行っています。水稻では、地域の「稲作農友会」の会長を務め、各種研修会等でもリーダーシップを発揮し、新規就農者へのアドバイスを行うなど、地域の若手生産者の指導に貢献しきいただきました。

やないとしゆき
矢内利幸さん (青年農業士、石川町)

酪農において、管内でも一早く牛群検定のデータを活用して、血統の改良に努めるなど、経営改善に意欲的に取り組んでいます。また、地域農業に大きく貢献し、人望も厚く、地域の中心的な担い手として活躍されました。

今回新たに認定された農業士の皆様、今後も引き続き地域農業の振興に御協力をお願いいたします。

また、退任された皆様、これまで大変お世話になりました。今後は、農業士の立場を離れても本県の農業を応援していただければ幸いです。ありがとうございました。



「HACCP 研修会」を開催しました！【農業振興普及部】

食品衛生法等の一部改正により、全ての食品等事業者は今年5月末までに HACCP (※) による衛生管理に取り組まなければならないことを受け、1月28日に県郡山合同庁舎において、郡山生活研究グループ連絡協議会会員や郡山市内の農産物加工実践者等を対象とした HACCP 研修会を開催しました。

郡山市保健所の松波主任^{まつなみ}を講師に迎え、「HACCP の考え方を取り入れた衛生管理」の講義を受け、「営業許可業種の見直しや営業届出制度の創設」、「HACCP に沿った衛生管理の制度化」の概要について学びました。

また、手引書を参考に加工品目ごとに説明を受け、今後求められる衛生管理について理解を深めました。

(※) HACCP とは、食品を製造する工程でどのような食品汚染の危険があるのかを事前に予測分析し管理を記録、またその危険を回避するための対策を決め、被害を未然に防ぐ取組です。



【説明を熱心に聞いていました！】

令和2年度全国優良経営体表彰を受賞した

「有限会社郡山アグリサービス」へ表彰状伝達を行いました！

【農業振興普及部・企画部】

農林水産省と全国担い手育成総合支援協議会では、意欲と能力のある農業者の一層の経営発展を図るため、農業経営の改善や地域農業の振興・活性化に優れた功績を挙げた農業者を毎年表彰しています。

今年度は、大葉生産を行っている有限会社郡山アグリサービス（郡山市）が見事、経営改善部門「全国担い手育成総合支援協議会会長賞」を受賞いたしました。

例年は、表彰状授与式が全国の場で開催されているところですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により残念ながら中止となったことから、2月19日に郡山アグリサービスにおいて、家久来^{かくらい}県中農林事務所^{えんどうよしだか}所長より遠藤喜敬代表へ表彰状の伝達が行われました。

郡山アグリサービスは、県内トップクラスの大葉生産農家での研修を契機に、水稻主体の経営から脱却するため、令和2年から大葉の周年生産を始めました。大葉の6次化商品（大葉ペースト）の改良やオンラインを活用した販路拡大を積極的に進めるなど、販売チャンネルの拡大による経営の安定化等に取り組んでいます。

今後の益々のご活躍に期待いたします。



【左から遠藤喜一さん、遠藤代表、家久来所長】

～頑張る農林業者～

■ わたなべ 渡辺ミヨ子さん（田村市）

渡辺さんは田村市都路町の加工所を拠点に、ジャム加工等を行っている農業者です。

渡辺さんは、幼い頃に山に分け入りおやつとして食べていた「野生のスーパーフード」ナツハゼを多くの人に味わってもらいたいとの思いから、ナツハゼの加工に取り組み始めました。渡辺さんのナツハゼは、一つ一つ手摘みで収穫したのち、優しい口触りとなるような処理を行って、ジャムやキャンディに加工されています。

さらに、県中地方・地域産業6次化ネットワーク交流会において、パッケージに関するヒントを得て、より多くの人に手に取ってもらえるようパッケージの改良にも取り組んでいます。改良したパッケージのジャムやキャンディは4月以降に田村市内の直売所等で販売を予定しております。

幻の和製ベリー「ナツハゼ」の野趣ある滋味をご賞味ください。



〔 なつはぜキャンディとなつはぜジャム（写真左）、
生産者の渡辺さん（写真右） 〕

～おいしい6次化商品～

有限会社ミッキーチェーン（郡山市）の「ドライフルーツパン」

当事務所では、令和2年度県中地方・地域特産品創出クラスター分科会事業において、GAP認証を取得している農産物を使用した「ふくなかすい一つ」の開発支援を行ってまいりました。

今回は、当事業を活用し完成した「ドライフルーツパン」をご紹介します！

本商品は、JGAPを取得している郡山市産にんじんと県産酒パウダーを生地練り込み、たくさんのドライフルーツを混ぜて焼き上げました。水を使用せず、牛乳、生クリーム、フレッシュバターと卵黄で生地を仕込んだ高級菓子パンです。

販売店舗の「ベルボーイ」では、令和3年2月1日から販売しています。

にんじんの甘みやほのかな酒の風味を感じられる本商品をぜひ味わってください。



【完成したドライフルーツパンです！】

有限会社ミッキーチェーン
販売店舗：ベルボーイ
〒963-8022
福島県郡山市西ノ内 1-19-17
電話：024-954-8215 FAX：024-954-8216
メールアドレス：
mickey-c@wing.ocn.ne.jp



～各部・各普及所の紹介～

農業振興普及部の紹介

こんにちは。今年度入庁しました農業振興普及部経営支援課技師のおおもりちあき^{おおもりちあき}と申します。今年1年で郡山の農産物に魅せられています！そのような郡山の農業を支える当部の仕事内容を紹介します。

当部は、農業振興に欠かせない補助事業に関わる業務を担う農業振興課、直接現地に出向きながら農業技術等の普及指導活動を行う地域農業推進課及び経営支援課の3課体制により、総員30名で業務に当たっています。

普及指導活動においては、新規就農者の確保・育成支援等を行う「ひとづくり」、新技術導入や病虫害対策支援等を行い、安全で魅力ある農産物生産を支援する「ものづくり」、農産物直売や農産加工、鳥獣被害対策の推進などを行う「地域づくり」の3つの視点で活動を展開しています。

一例として、当部では、農産物の安全安心に関する取組であるGAP（農業生産工程管理）取得の支援に力を入れており、実際に農家に伺い、ルール作りや農場点検等の支援を行っております。

上記以外にも多岐にわたった活動を日々行っており、郡山の農業がますます魅力あるものとなるように今後も尽力してまいります！



【ナンの品質調査の様子（筆者左）】

～お知らせ～

山火事にご注意を!!「あなたです 森を火事から 守るのは」【森林林業部】

林野火災発生の危険期を迎えるにあたり、山火事予防意識の啓発を図るとともに、予防対策を強化し、森林の保全と地域の安全に資するため、「あなたです 森を火事から 守るのは」を統一標語に掲げ全国で山火事予防運動が3月1日から3月7日までの統一実施期間に行われます。

大規模な山火事が発生すると、地域の住民生活や社会的に大きな影響を及ぼします。枯れ草などのある火災が起りやすい場所でのたき火、強風時及び乾燥時のたき火や火入れ、たばこの投げ捨て、火遊び等は絶対に行わないようにお願いします。



【山火事予防啓発ポスター】

かべ新聞コンクール入賞作品の展示について！【農村整備部】

今年度、農作業体験学習「田んぼの学校・畑の学校」に取り組んだ県内5校の小・中学校を対象に、1年間の取組を振り返る「かべ新聞コンクール」が実施され、県中管内からは、県立たむら支援学校（田村市）の児童・生徒さんたちが参加しました。

各学校が作成したかべ新聞は、下記に展示・掲載されておりますのでぜひご覧ください。

☆かべ新聞コンクール入賞作品の展示について

場所：福島県庁西庁舎 2階 県民ホール

日時：3月1日～3月5日

（終日展示しております。最終日は16時まで）



〔 たむら支援学校の児童・生徒さんが作成した新聞です！ 〕

石川地方グリーン・ツーリズムガイドブックが完成しました！【企画部】

石川郡（石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町）の方々で組織する「石川地方グリーン・ツーリズム推進協議会」において、構成員が提供する体験や農家民宿・民泊、農家レストランなどの情報を1冊にまとめたガイドブックが、構想から1年の歳月を費やし遂に完成しました！

県内の道の駅、県や石川郡内の施設などで配布・設置しますので、見かけた際にはぜひお手に取ってご覧ください！

そして、石川地方の魅力に触れに訪れてください。

【この表紙が目印です！】→



新型コロナウイルス感染症に関する支援情報について

新型コロナウイルス感染症の影響により、農林漁業者・食品関連事業者等を取り巻く情勢はいまだ困難な状況下にあります。

福島県、国ではさまざまな支援を行っておりますのでお知らせします。

- 新型コロナウイルス感染症に係る情報（農林漁業者向け）について【福島県農林企画課】
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36005b/corona01.html>
- 感染症拡大防止に係る協力金、一時金について【福島県商工総務課】
 - ・福島県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金（時短営業協力金）
【第1弾】<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32011a/covid19kyouryokukin3.html>
【第2弾】<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32011a/covid19kyouryokukin4.html>
 - ・売上の減少した中小事業者に対する一時金（福島県版一時金）
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32011a/covid19ichizikin.html>
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける農林漁業者・食品関連業者への支援策【農林水産省】
https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/support.html



お問い合わせ
はこちら！

福島県県中農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒963-8540
郡山市麓山一丁目1番1号
ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a>
TEL 024-935-1510 FAX 024-935-1314